

(5) 基盤環境（河川物理環境情報図）

1) 調査目的

ダム撤去により環境が変化すると予測されるダム上・下流において、河川形態・河床材料の状況を把握することを目的とする。

2) 調査の時期・頻度

調査は、平成 29 年 3 月 16～17 日に実施した。

3) 調査方法

調査地点において踏査を行い、河川形態（早瀬、平瀬、淵）、河床材料（大石、石、礫、砂、砂泥、岩盤、テトラポッド）、陸域の状況（州、高水敷、斜面）の分布状況を地図情報として整理した。

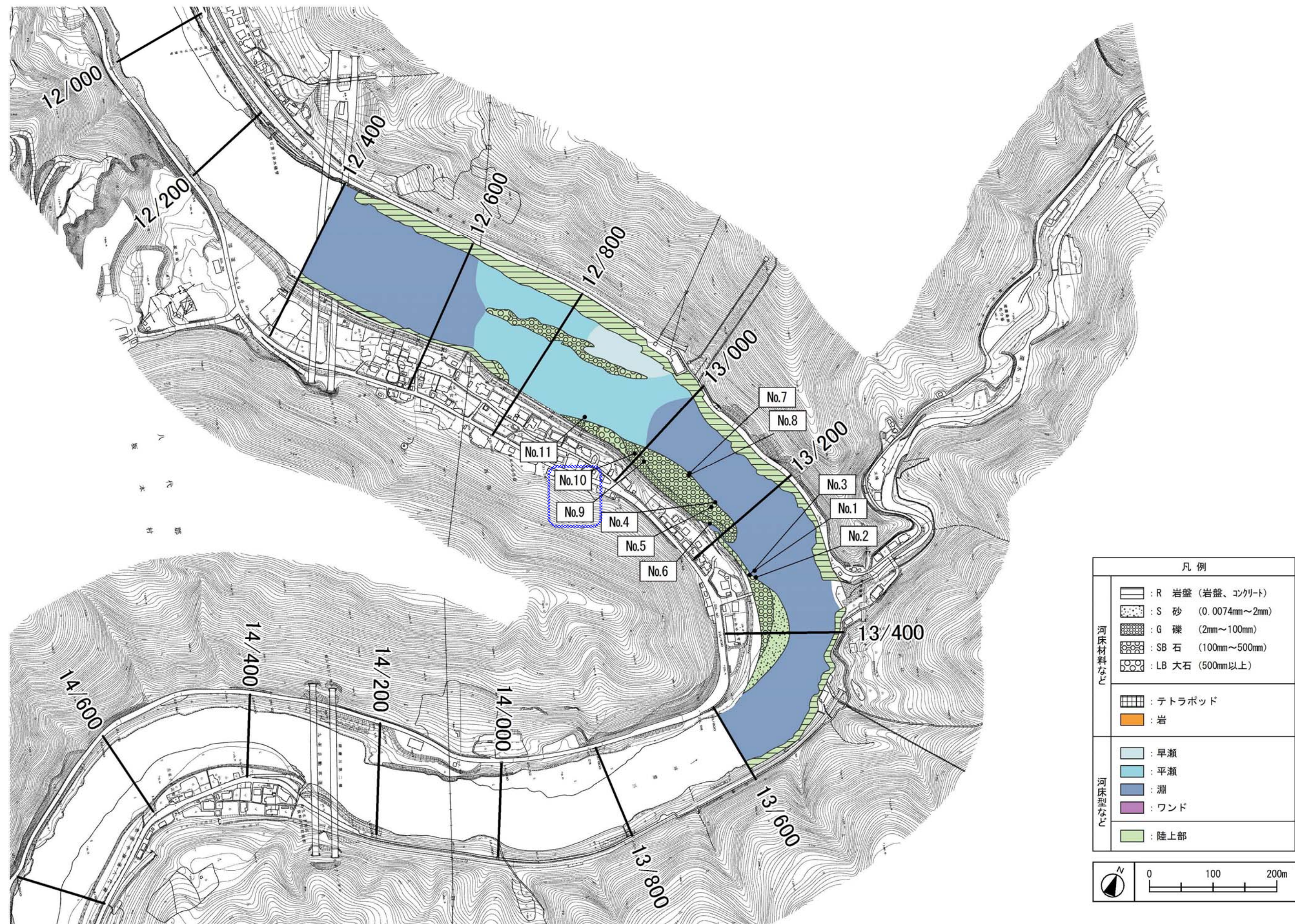
また、水際や陸上部の代表地点に 50cm×50cm のコドラートを設置し、河床材の状況を把握するためにコドラート内を写真撮影した。

4) 調査地点

次の 9 地点で調査を実施した。

①横石、②下代瀬、③坂本橋、④道の駅坂本、⑤荒瀬ダム百済木川流入部、⑥葉木、⑦与奈久、⑧西鎌瀬、⑨瀬戸石ダム下流



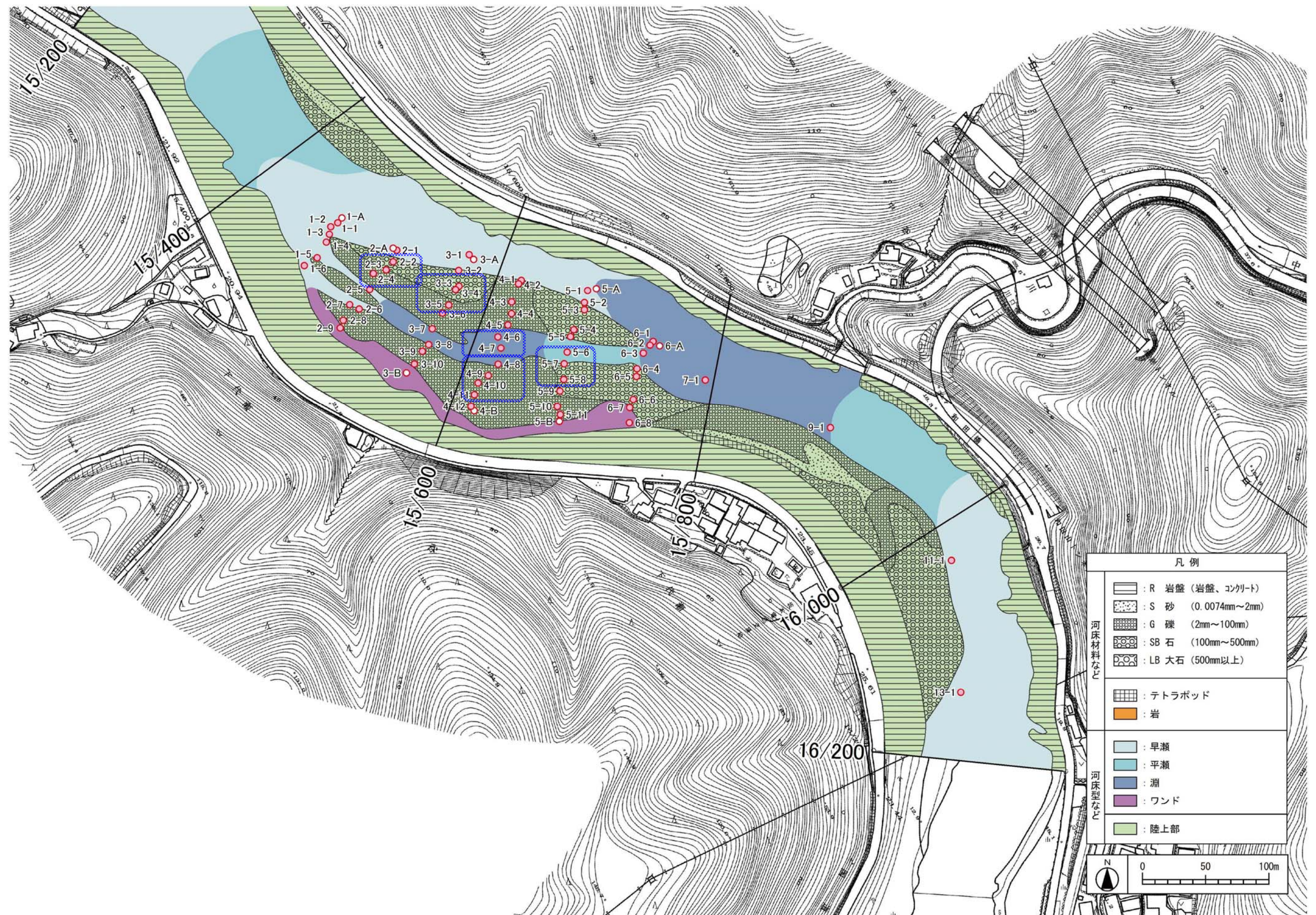


河川物理環境情報図（横石）

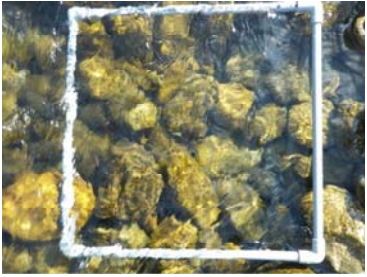
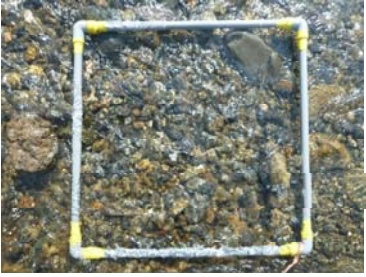
No.	H24.4	H28.3	H29.3	No.	H24.4	H28.3	H29.3
1				7			
2				8			
3			水深が深く観測不可	9			
4				10			
5				11			
6							

・No.9～10 は、H23 年度～H24 年度及び H26 年度～H27 年度の維持掘削工事によって粗粒化し、その状態は H28 年度も継続している。

河床材料の変化（横石）

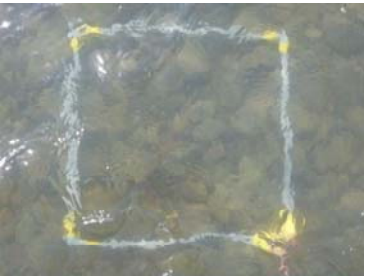
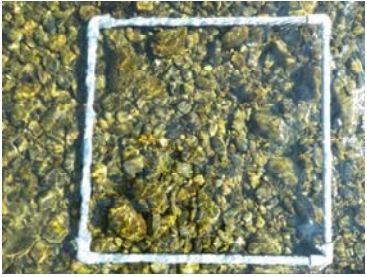


河川物理環境情報図（下代瀬）

No.	H23.12	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
1-A		水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった
1-1		水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	
1-2		水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	
1-3		水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった		
1-4		水深及び流速の増加により測定できなかった				
1-5		水深及び流速の増加により測定できなかった				

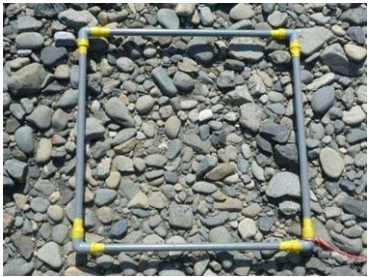
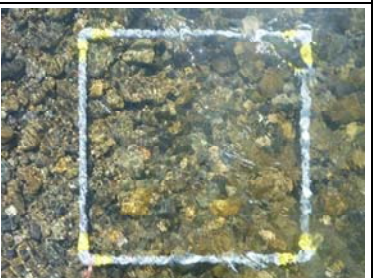
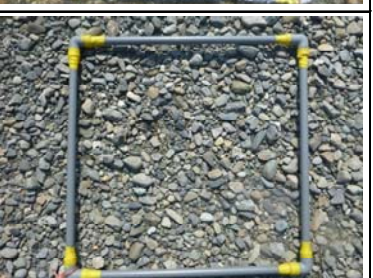
・特徴的な変化はみられない。

河床材料の変化（下代瀬1）

No.	H23.12	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
1-6		水深及び流速の増加により測定できなかった				
2-A		水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった		
2-1						
2-2						
2-3						
2-4		水深及び流速の増加により測定できなかった				

・No.2-2～2-4 は、H23 年度～H24 年度の維持掘削で少し粗流化した後に細粒分が堆積し、その後 H26 年度～H27 年度の維持掘削工事で再び粗粒化し、その状態は H28 年度も継続している。

河床材料の変化（下代瀬 2）

No.	H23.12	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
2-5		水深及び流速の増加により測定できなかった				
2-6		水深及び流速の増加により測定できなかった				
2-7		水深及び流速の増加により測定できなかった				
2-8		水深及び流速の増加により測定できなかった		水深及び流速の増加により測定できなかった		
2-9		水深及び流速の増加により測定できなかった		水深及び流速の増加により測定できなかった		
3-A		水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった	水深及び流速の増加により測定できなかった		

・特徴的な変化はみられない。

No.	H23.12	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
3-1		水深及び流速の増加により測定できなかった		水深及び流速の増加により測定できなかった		
3-2						
3-3						
3-4						
3-5						
3-6						

・No.3-3～3-5 は、H23 年度～H24 年度の維持掘削で少し粗流化した後に細粒分が堆積し、その後は砂分が抜けて粗粒化した。しかし、H26 年度～H27 年度の維持掘削工事で細粒化し、H28 年度は砂分が抜けて粗粒化している。

河床材料の変化（下代瀬 4）

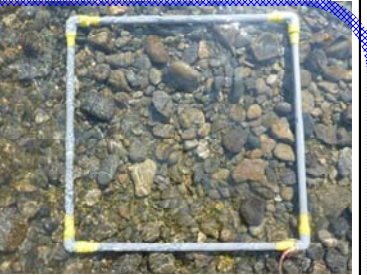
No.	H23.12	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
3-7		水深及び流速の増加により測定できなかった				
3-8		水深及び流速の増加により測定できなかった				
3-9		水深及び流速の増加により測定できなかった				
3-10		水深及び流速の増加により測定できなかった				
3-B		水深及び流速の増加により測定できなかった				
4-1						

・特徴的な変化はみられない。

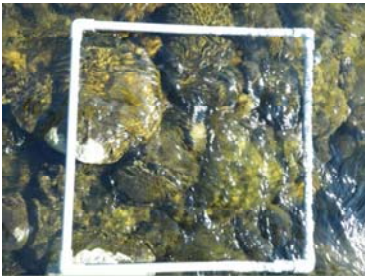
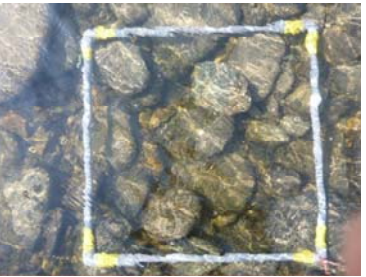
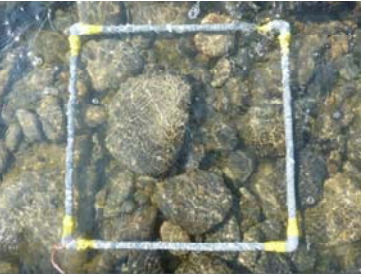
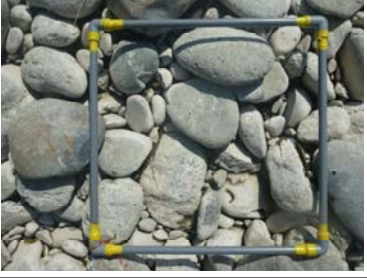
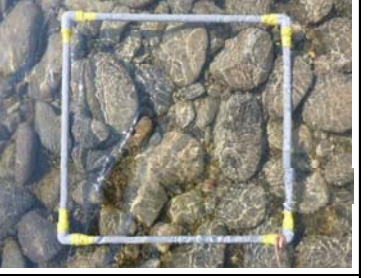
No.	H23.12	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
4-2						
4-3						
4-4						
4-5						
4-6						
4-7		水深及び流速の増加により測定できなかった				

・No.4-6～4-7 は、H23 年度～H24 年度の維持掘削後に細粒分が堆積した後、H26 年度～H27 年度の維持掘削工事で粗粒化し、その状態は H28 年度も継続している。

河床材料の変化（下代瀬 6）

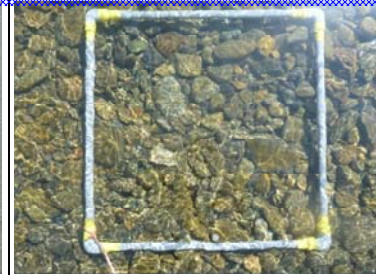
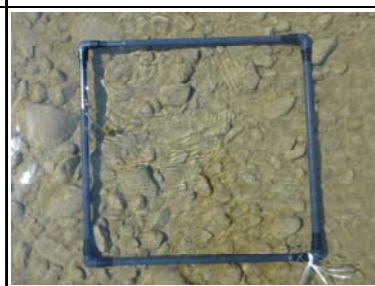
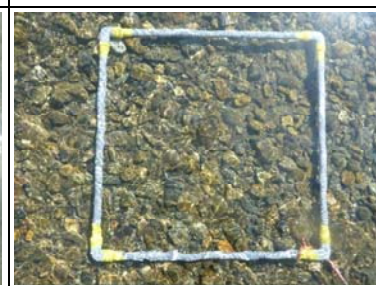
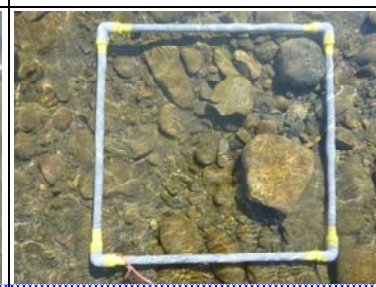
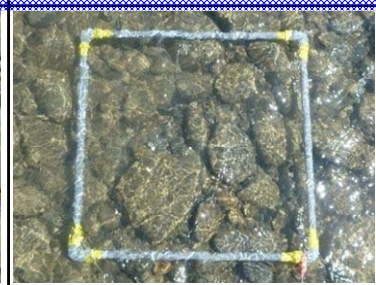
No.	H23.12	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
4-8		水深及び流速の増加により測定できなかった				
4-9		水深及び流速の増加により測定できなかった				
4-10		水深及び流速の増加により測定できなかった				
4-11		水深及び流速の増加により測定できなかった				
4-12		水深及び流速の増加により測定できなかった				
4-B		水深及び流速の増加により測定できなかった				

・No.4-8～4-11 は、H23 年度～H24 年度の維持掘削後に細粒分が堆積した後、その状態は H28 年度まで継続している。

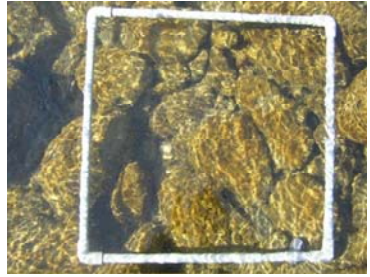
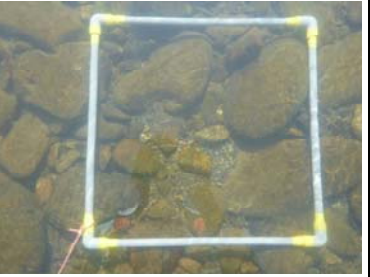
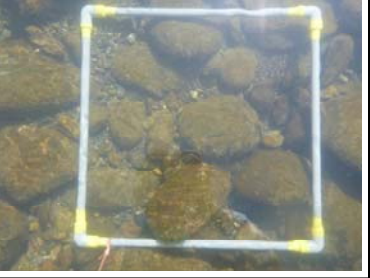
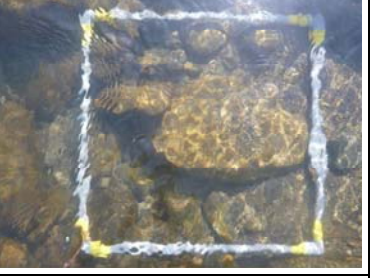
No.	H23.12	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
5-A		水深及び流速の増加により測定できなかった		水深及び流速の増加により測定できなかった		
5-1		水深及び流速の増加により測定できなかった		水深及び流速の増加により測定できなかった		
5-2		水深及び流速の増加により測定できなかった				
5-3						
5-4						
5-5						

・特徴的な変化はみられない。

河床材料の変化（下代瀬 8）

No.	H23.12	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
5-6						
5-7						
5-8		水深及び流速の増加により測定できなかった				
5-9		水深及び流速の増加により測定できなかった				
5-10		水深及び流速の増加により測定できなかった				
5-11		水深及び流速の増加により測定できなかった				

・ No.5-6～5-8 は、H23 年度～H24 年度の維持掘削後に細粒分が堆積した後、H26 年度～H27 年度の維持掘削工事で粗粒化し、その状態は H28 年度も継続している。

No.	H23.12	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
5-B		水深及び流速の増加により測定できなかった				
6-A		水深及び流速の増加により測定できなかった		水深及び流速の増加により測定できなかった		
6-1		水深及び流速の増加により測定できなかった				
6-2		水深及び流速の増加により測定できなかった				
6-3						
6-4						

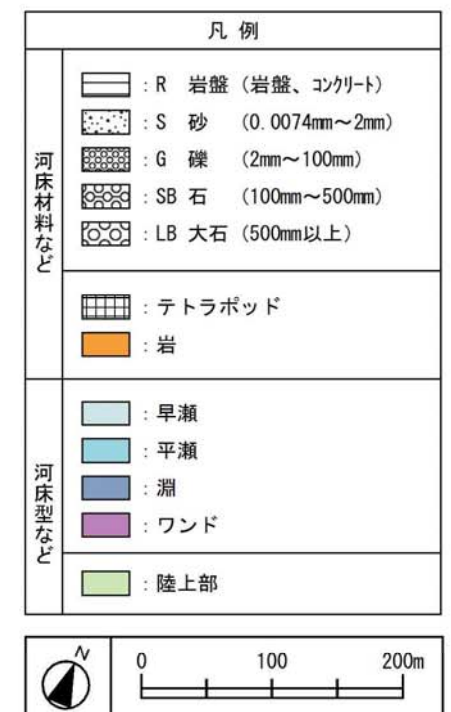
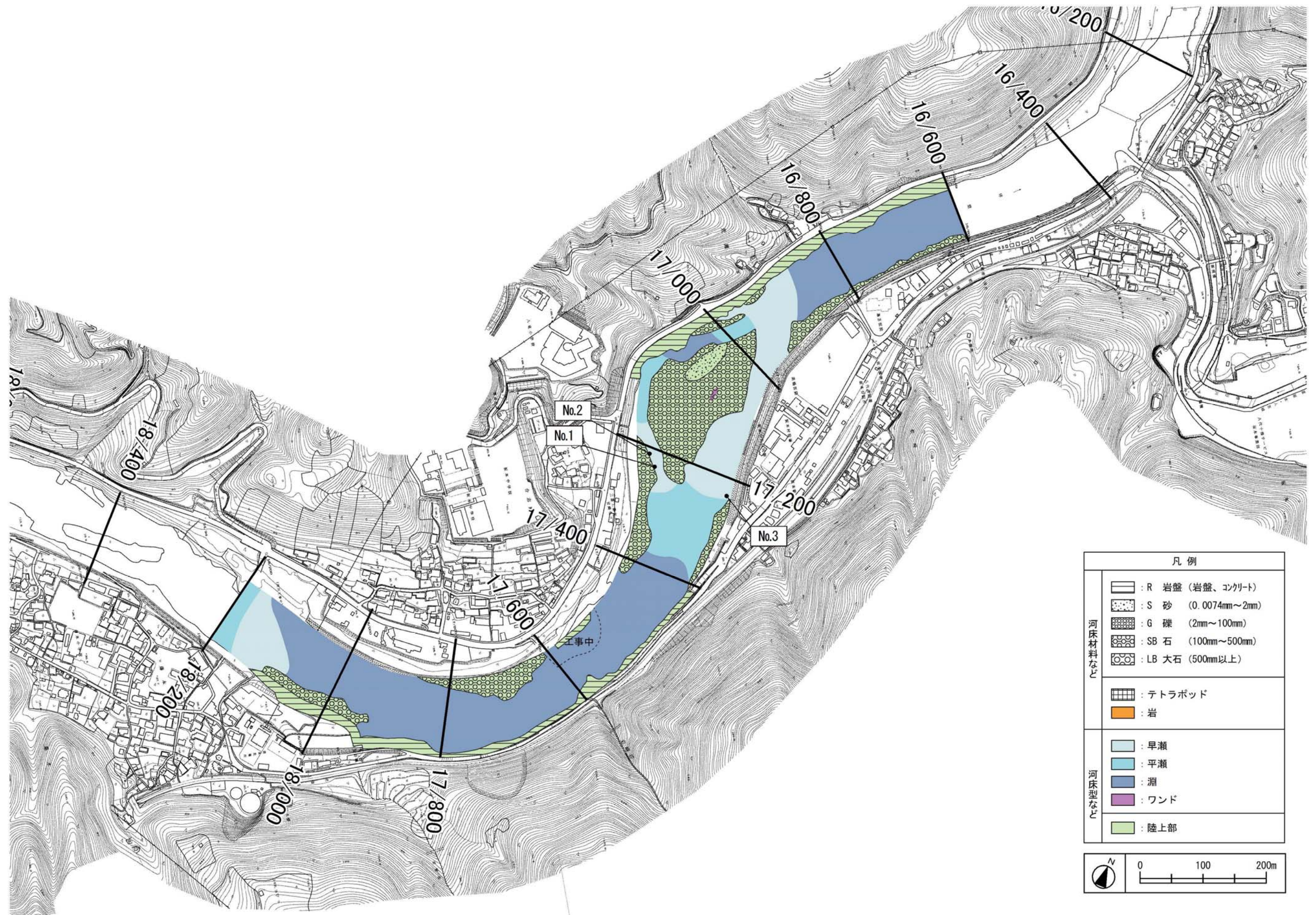
・特徴的な変化はみられない。

河床材料の変化（下代瀬 10）

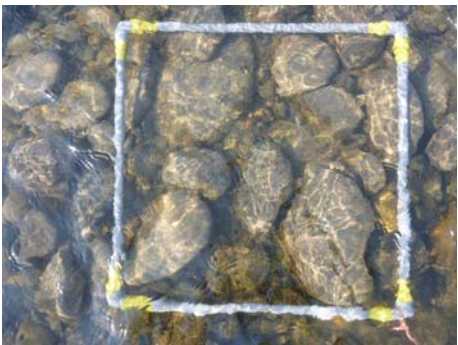
No.	H23.12	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
6-5						
6-6		水深及び流速の増加により測定できなかった		水深及び流速の増加により測定できなかった		
6-7		水深及び流速の増加により測定できなかった				
6-8		水深及び流速の増加により測定できなかった				

・ 特徴的な変化はみられない。

河床材料の変化（下代瀬 11）

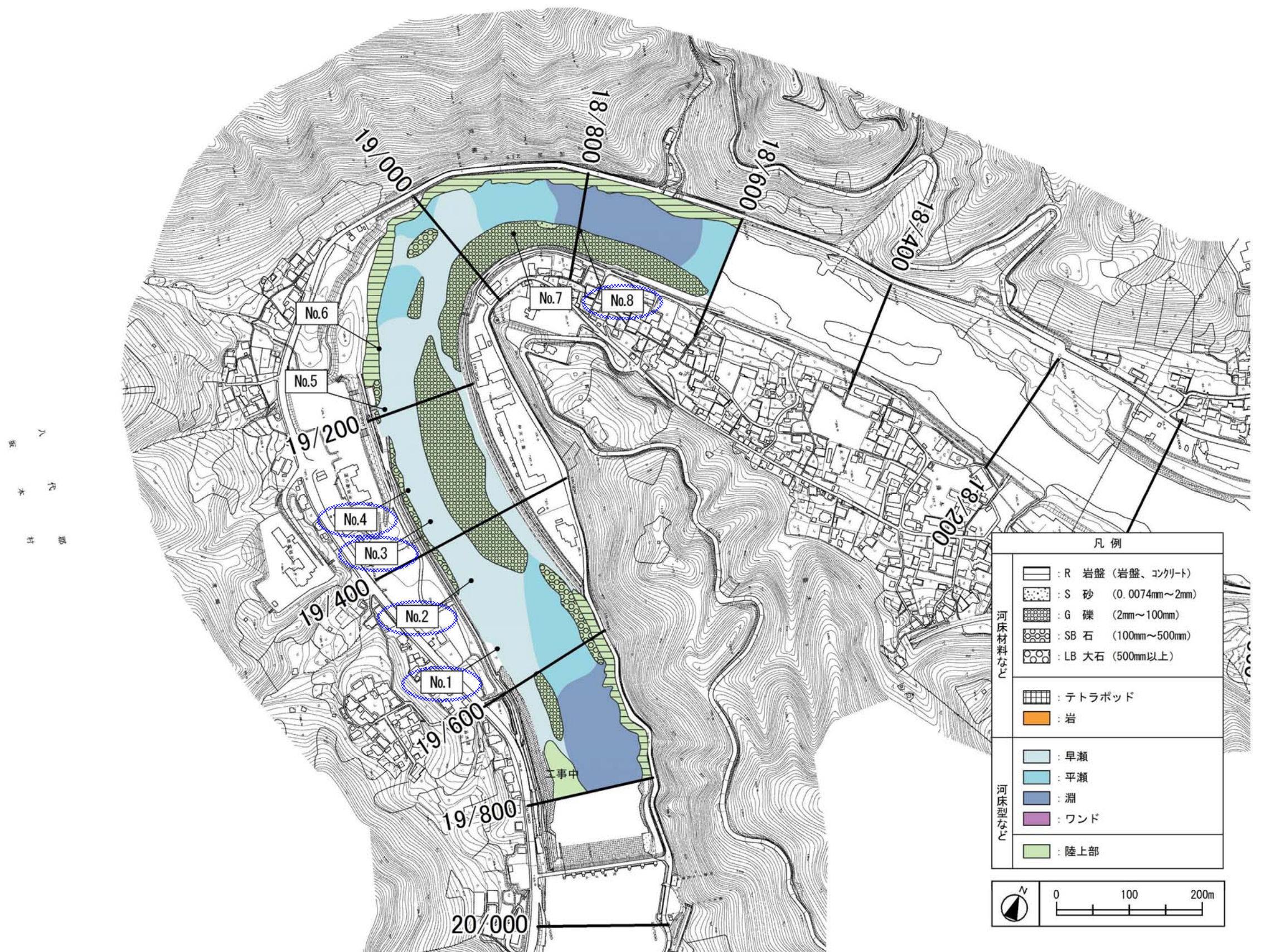


河川物理環境情報図（坂本橋）

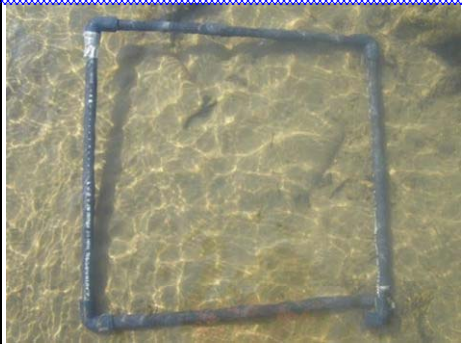
No.	H24.4	H28.3	H29.3
1			
2			
3			

・特徴的な変化はみられない。

河床材料の変化（坂本橋）



河川物理環境情報図 (道の駅坂本)

No.	H24.4	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
1					
2					
3					
4					

- ・No.1 は、H25 年度～H26 年度で砂分が抜けて粗粒化した後、その状態が H28 年度まで継続している。
- ・No.2 は、H24 年度～H25 年度で砂分が抜けて粗粒化した後、その状態が H28 年度まで継続している。
- ・No.3～4 は、H26 年度～H27 年度で砂分が抜けて粗粒化した後、その状態が H28 年度も継続している。

河床材料の変化（道の駅坂本 1）

No.	H24.4	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
5					
6					
7					
8					
・No.8 は、H24 年度～H25 年度で細粒化（砂泥が堆積）したが、H25 年度～H26 年度で泥分が抜け落ち粗粒化し、H23 年度の礫が優占する状態に戻った。H28 年度は砂分の堆積がみられた。					

河床材料の変化（道の駅坂本 2）

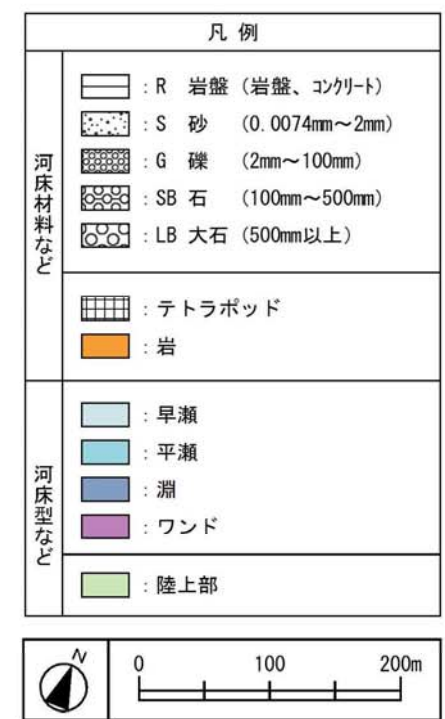
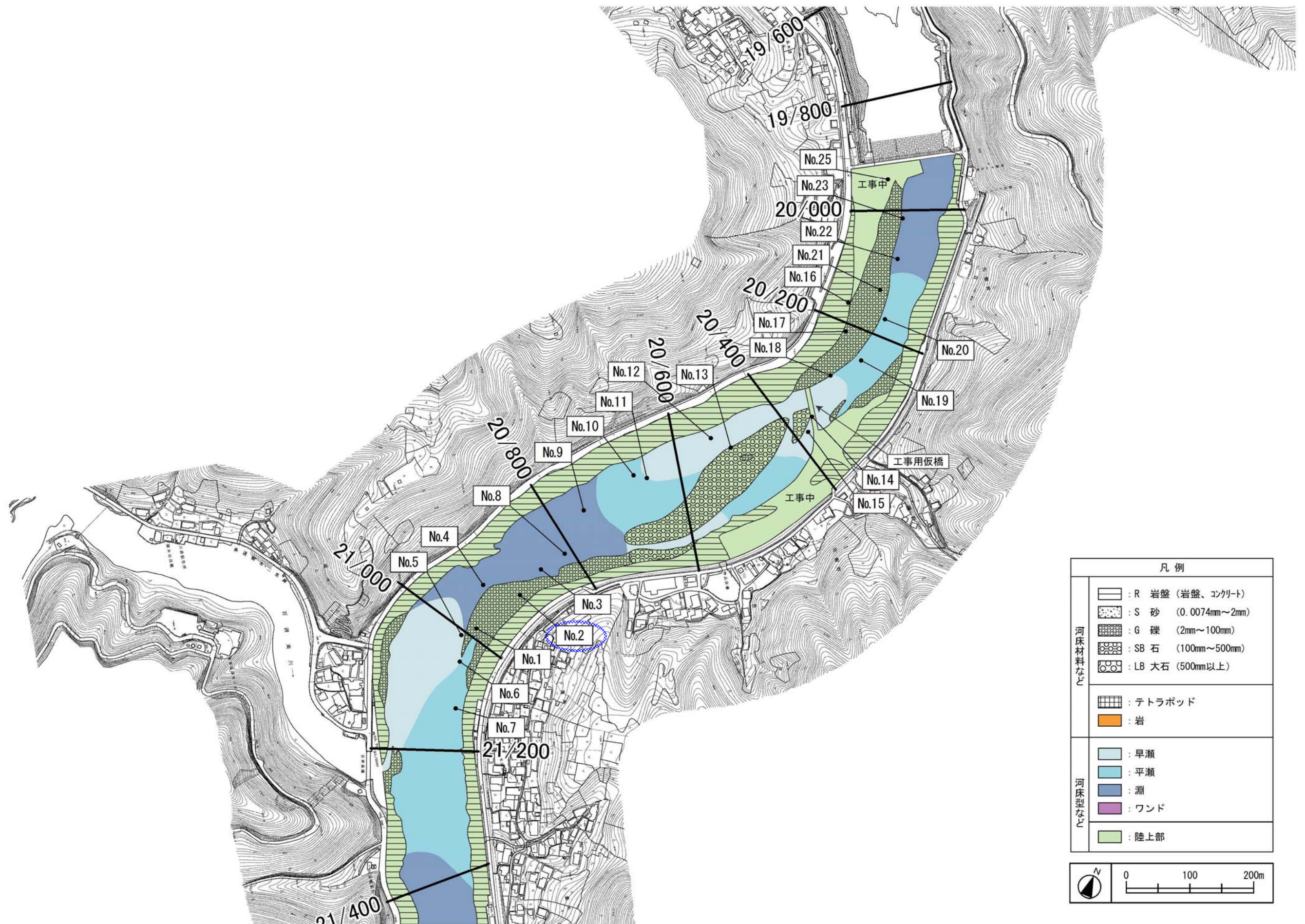


河川物理環境情報図（荒瀬ダム百済木川流入部）

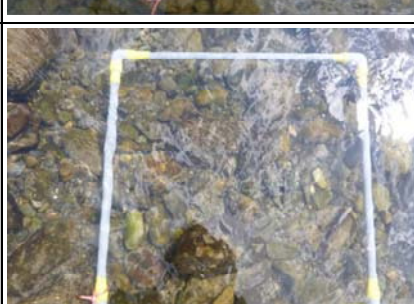
No.	H23.12	H26.3	H27.3	H28.3	H28.3
1					
2					
3					
4					
5					
6					

・No.2 は、H23 年度～H25 年度で粗粒化し、その状態は H28 年度まで継続している。

河床材料の変化（荒瀬ダム百済木川流入部）

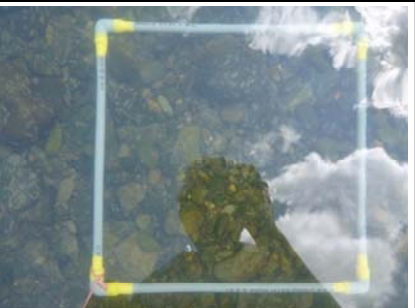
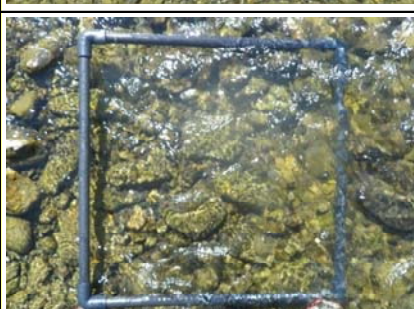


河川物理環境情報図 (葉木)

No.	H25.9	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
1					
2					
3					
4					
5					

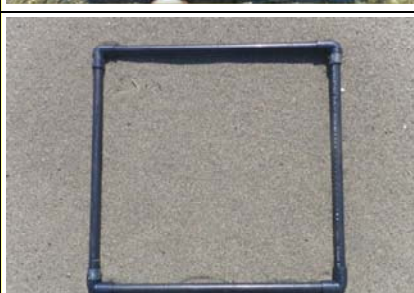
・No.2 は、H25 年 9 月～H26 年 3 月で粗粒化し、その状態は H28 年度まで継続している。

河床材料の変化（葉木 1）

No.	H25.9	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
6					
7					
8					
9					
10					

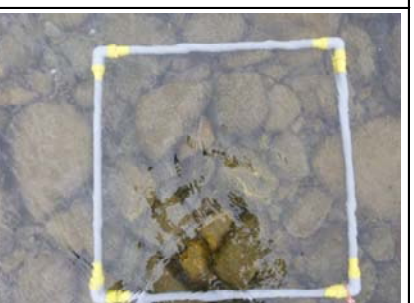
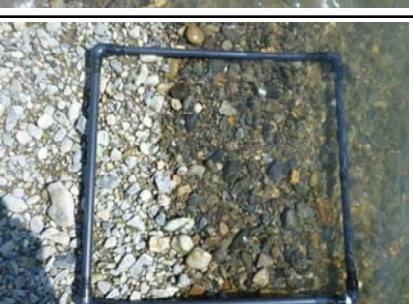
・特徴的な変化はみられない。

河床材料の変化（葉木 2）

No.	H25.9	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
11					
12					
13					
14					
15					

・No.11～15 は、工事区間であるため、冠水状態や河床材料が変動している。

河床材料の変化（葉木 3）

No.	H25.9	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
16					
17					
18					
19					
20					

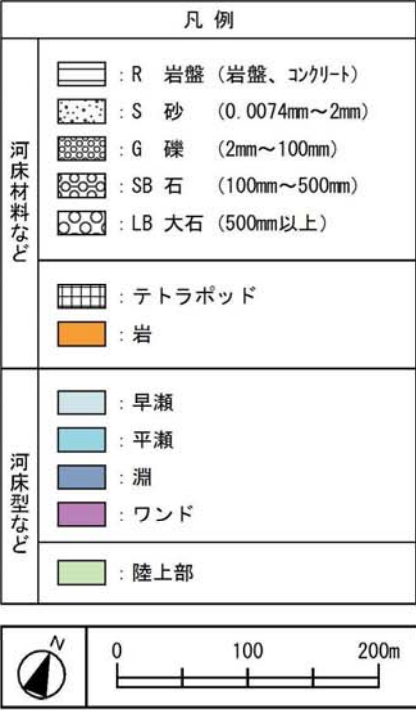
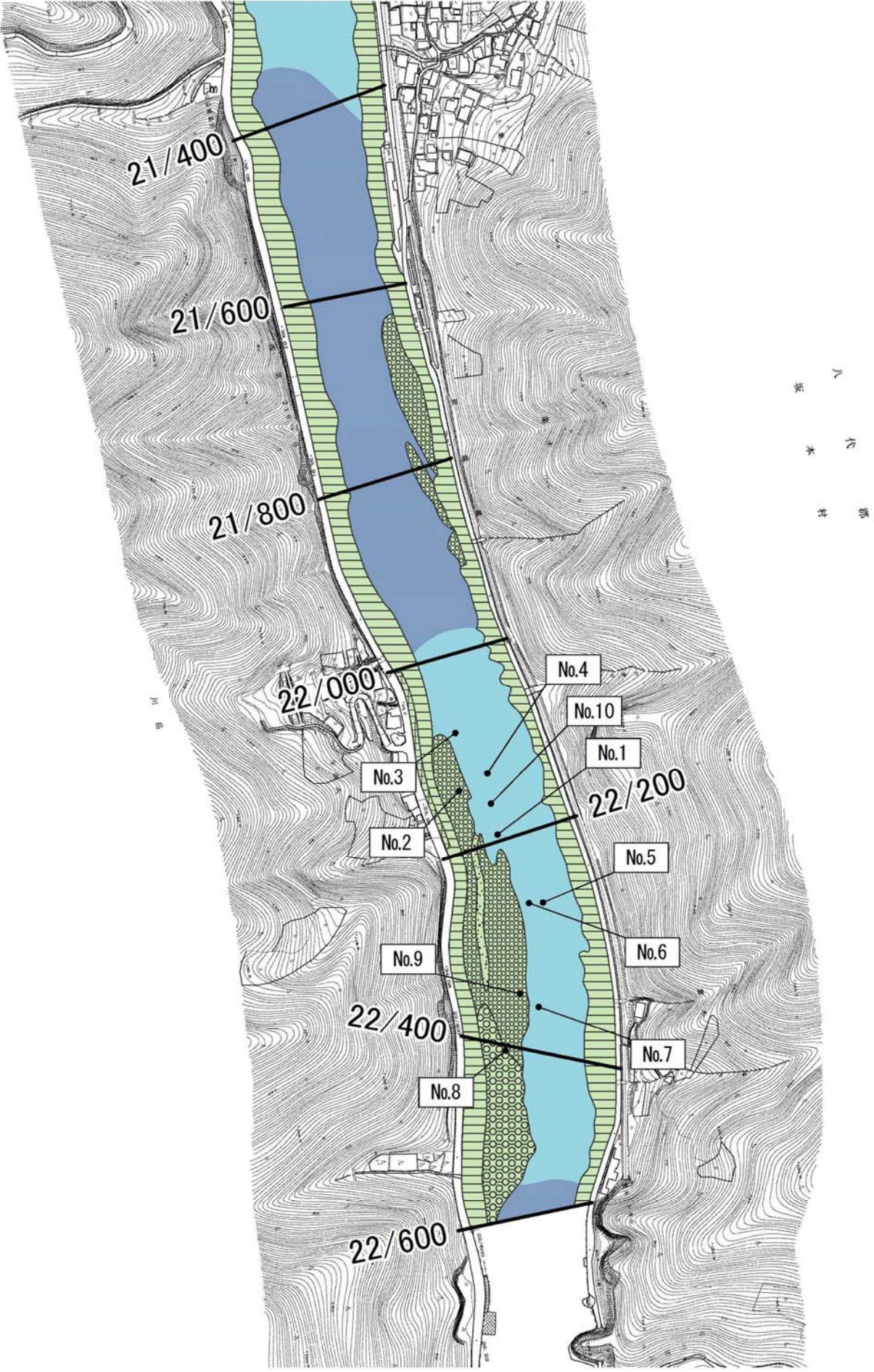
・No.16～20 は、工事区間であるため、冠水状態や河床材料が変動している。

河床材料の変化（葉木 4）

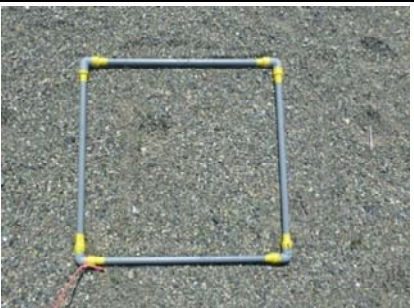
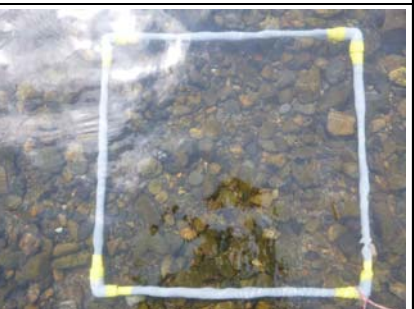
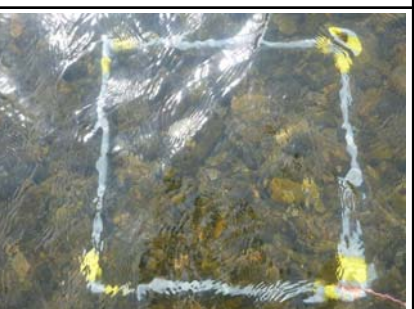
No.	H25.9	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
21					
22					
23			工事中のため観測不能	水深が深く流速が速いため 観測不能	
24		工事中のため観測不能	工事中のため観測不能	欠番	欠番
25					

・No.21～25 は、工事区間であるため、冠水状態や河床材料が変動している。

河床材料の変化（葉木 5）



河川物理環境情報図（与奈久）

No.	H25.9	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
1					
2					
3					
4					
5					

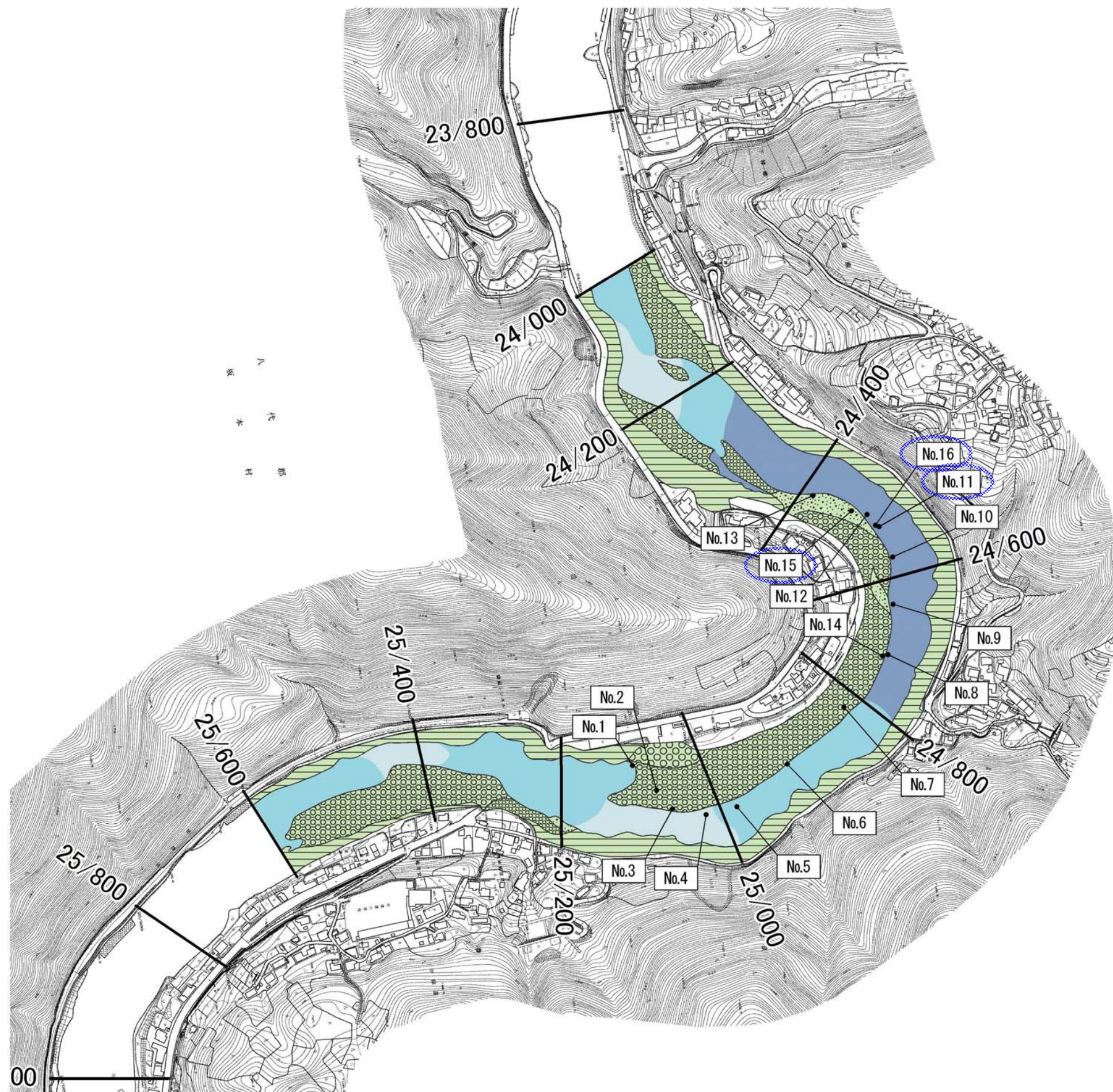
・特徴的な変化はみられない。

河床材料の変化（与奈久 1）

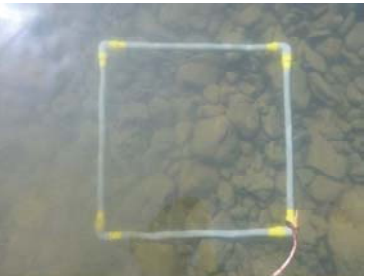
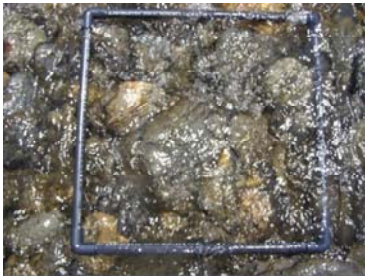
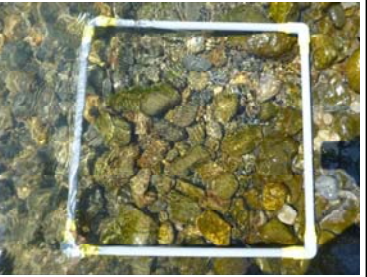
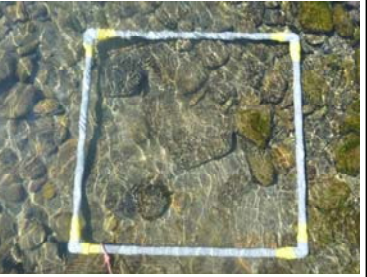
No.	H25.9	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
6					
7					
8					
9					
10					

・特徴的な変化はみられない。

河床材料の変化（与奈久 2）



河川物理環境情報図（西鎌瀬）

No.	H24.4	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
1					
2					
3					
4					
5					
6					

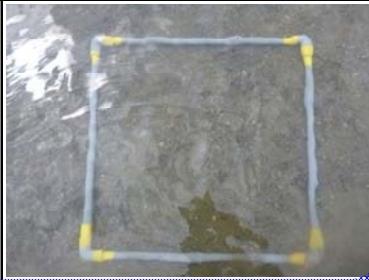
・特徴的な変化はみられない。

河床材料の変化（西鎌瀬1）

No.	H24.4	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
7					
8					
9					
10					
11					
12					

・No.11 は、H26 年度～H27 年度に砂分が堆積し、その状態は H28 年度も継続している。

河床材料の変化（西鎌瀬 2）

No.	H24.4	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
13					
14					
15					
16					

- ・No.15 は、H24 年度～H25 年度で粗粒化し、その状態は H28 年度まで継続している。
- ・No.16 は、H24 年度～H25 年度で細粒化し、その状態は H28 年度まで継続している。

河床材料の変化（西鎌瀬 3）

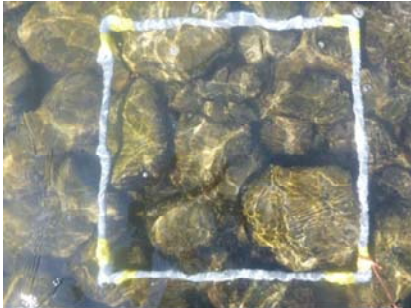
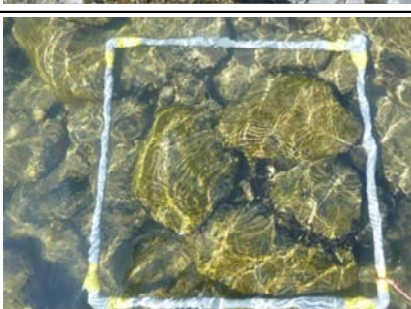
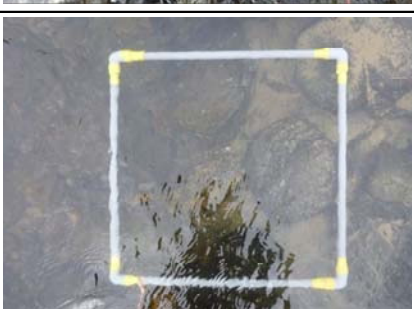


河川物理環境情報図（瀬戸石ダム下流）

No.	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
1				
2				
3				
4				
5				

・特徴的な変化はみられない。

河床材料の変化（瀬戸石ダム下流 1）

No.	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
6				
7				
8				
9				
10				

・ 特徴的な変化はみられない。

河床材料の変化（瀬戸石ダム下流 2）